

ATOM NEWS

2019 WINTER

206



つかってみると
なんだかうれしい
ここちいい



鮎起すずがみ 18cm 角 ¥8,500 [税別]
すずがみ 13cm 角 ¥2,750 [税別]
すずがみ 11cm 角 ¥2,200 [税別]
KAGO-ダリア ¥8,000 [税別]



KANAGU

kanagu-store.com

- 3 アテナの道具箱 左官 福吉奈津子さん
- 6 石の神さま仏さま 人生に必要なのは忍耐と温泉
- 7 住まいの中の機構としくみ 引っぱって軽くなる滑車!
- 9 CSタワー通信 特別展示「KANAGU つなぐ地域《石川》」
- 10 Vegetable Atelier ターサイ
- 11 古今東西たてものがたり 秋田県鹿角郡小坂町 康楽館
- 15 What is ATOM? 2019 秋の内覧会レポート
- 17 切手で巡る世界の旅 ウィーンの芸術家が集うカフェでひと休み
- 18 オフタイムの過ごし方

今号の表紙

ATOM AIカー



AIの能力が急速に進化している現代社会であるが、バイクや自動車も二輪や四輪の駆動輪で走るのが当たり前前の時代から、球に乗って走る時代へと進化していくのではないかと。車体は、球の上に乗っているが走り出すときは磁力の反発で浮かせる。移動は、からだを前後に傾けるとAIが位置を修正、球が転がり始める。速度を上げるには傾きを大きくする。そうすると修正力が上がり速く進む。こんな自動車が街を走るのも、そう遠くはない? 方向を前後左右に変化できるATOMの移動間仕切り金具の使い道はお客さまのアイデアしだいです。



瀬谷 昌男 [Masao Seya]

東京都渋谷区原宿生まれ。浮世絵風のユニークで癒やし系の作品を生み出しているイラストレーター

読者プレゼント Present



● 和ろうそく(手描き花絵)4本とミニ燭台セット

その歴史は安土桃山時代にまでさかのぼるといわれる、石川県は七尾の和ろうそく。今回の読者プレゼントは明治25年創業の高澤ろうそくより、和ろうそく4本と陶器のミニ燭台のセットです。4本のろうそくには、手描きの花絵が美しく描かれています。石油を使用せず、植物油や和紙、灯芯草(イグサの別名)といった自然素材から一つひとつ手作りされた和ろうそく。ススが少なく、風に強い炎が灯るのが特徴です。また、その炎は1/fゆらぎであるため、癒やしの効果があるともいわれています。眺めるだけで心が安らぐ、和ろうそく。お風呂や就寝前などの日常のリラックスタイムに、和ろうそくの灯りを取り入れてみませんか?

[サイズ・内容] 2号イカリ(9cm)4本+ミニ燭台(陶器) 箱サイズ: 19×13×4cm
[販売価格] 四季あかり 1,320円(税込) 手描き花絵 1,870円(税込)

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5名様にプレゼントいたします。

締め切り 2020年1月31日(金)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

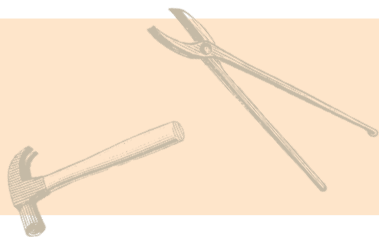




アテナの道具箱

ATHENA'S TOOL BOX

vol. XII



ハンドミキサーが回りだした。

バケツの中で白土や砂、ワラスサ、水などを合わせた塗り壁材を攪拌する。練り上がった材料をコテ板に盛り、コテで掬い取って壁に塗りつけていく。

コテを上下左右に動かし、均一に、平らに、ムラなく。微妙な力加減と滑らかなスピード。「手の感触で厚みがわかる」という。左官として基本中の基本である。

畳一枚ほどのスペースの壁をあつというまに塗りあげた。壁の装いに美しい表情が生まれ、新たな「命」が吹きこまれた。「左官仕事とは、土やモルタル、漆喰といった材料を使って壁などを塗ること」。住宅や店舗の建築で壁や玄関、土間などの最終的な仕上げの工程である。

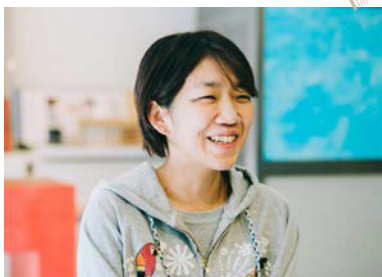
— 左官見習い —

じつは「左官になるまえは、左官という言葉も職業も知らなかった」。手につけたくて、花き市場の仲卸や造園業にも就いた。が、男社会という色合いが強く、人間関係に悩みコミュニケーション不足のもどかしさを感じた。

「女性が一緒に働く職場じゃないと、つづけるのは難しいかな」と、インターネットで「建築・女性」をキーワードに検索。ヒットしたのが現在の会社だった。



壁を装う



左官 福吉 奈津子 NATSUKO FUKUYOSHI

1985年神奈川県横浜市生まれ。地元の公立高校を卒業後、大田市場の仲卸、造園業を経て原田左官工業所へ。13歳と11歳の子供を持つワーキング・ママ。東京都の「ものづくり・匠の技の祭典2017」で「匠なでしこ」として表彰された。



面接に出かけ、そこで初めて左官という仕事を知った。「いつから来るの?」と聞かれ、「やってみようか」と心が動いた。怖いもの知らずの十九歳だった。

見習い期間は、四年。現場でマスクングテープを貼り、シートを敷く養生をし、先輩の仕事の手伝いをする。「私たちの時代は見習いという言葉どおり、見て習え、といわれました」

重い壁材を運んだり、練るといふ力仕事も多い。男女の差はもちろんある。「でも男が重い袋を二つ持つから、女も二つということじゃない」。それを理解してくれる会社にも先輩にも恵まれた。

— 名前の焼印 —

壁塗り用のコテは壁材や使い道によって大きさや形、材質も違い、何千という種類がある。その中で現場に持つていく道具箱には、常時三十種ほど。

「左官仕事は美しさや丁寧さはもちろん、壁材が乾きやすいのでスピードも大切。針の穴を通すように気持ちを集中しなければ、しつかり塗れない」。隅がどうなっているか、平滑に塗れているか、細部にも心を配る。

大事にしている道具は、半焼きの塗りつけコテだ。半焼きとは鋼を低温で焼き入れたあと、焼き戻しをせずに成形し



たもの。セメントモルタルや石膏、漆喰の塗りつけなど用途は幅広い。「使いこんでいくうちに両側のサイドが擦り減って、まるで包丁の刃のようになってくる」。研いだように鋭くなり、掃除をしていてスパッと手を切ってしまうことも。「それくらい使いこむと道具としての価値も出てくるし、愛着も湧いてきます」

コテの持ち手には、名前の「なつ」の文字が焼印で押されていた。

— 波模様の壁 —

自分でも納得のいく仕上がりで、評価も高い仕事がある。若者の街・原宿にあるデザートカフェ店の壁だ。

「塗り版築仕上げ」と呼ばれる工法で、土の風合いを活かし、何層にも塗り分けた。「各層ごとに形や色や素材を変えて、揺れる曲線を描いた」。完成した壁は、浜辺に打ち寄せる波のような模様となり、動きのある仕上がりとなった。最近注目の新しい工法で、土の素朴な温もりや自然素材が再評価されている。

「これと同じ感じでやってほしいという依頼も施工例も増えていますね」

自分の仕事が認められたという実感が湧いてきた。



— 左官の世界 —

男社会といわれる職人の世界にいると、男勝りと誤解されることも多い。だが性格的には「失敗したらどうしよう？こんなできないよ」と悩み、引込み思案になっってしまうタイプだ。「でも、やってみなければ分からないじゃない」と自分で自分を奮い立たせ、励ましている。

十九歳で何も知らずに左官の世界に飛びこんでから十五年。「案ずるより産むが易し」が信条だから、左官の道を選んだ決断に悔いはない。「もしかしたら、あ

朝は六時半に出勤。土日祝にも仕事がある。家に帰れば夕飯の支度はもちろん、翌日の朝食、夫と二人の子供たちのお昼の弁当の準備を欠かさない。

すべてに全力投球のワーキング・ママ、である。



群馬県吾妻郡草津町西の河原公園 不動明王

人生に必要なのは忍耐と温泉

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神さま・仏さま。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、何かを語りかけてくれます。



この世は思い通りにならないことばかり。

つらいことだらけという状態が普通である、

と、お釈迦様が教えてくれた。

だから、何か問題が起きても、「まあ、こんなものさ」と

耐え忍ぶのが人生の基本なのである。

けれど、あんまり辛抱ばかりしていると、

心が凍ってしてしまうこともあるよね。

そんな時は、やっぱり温泉。

天下の不動明王の心だって癒やす草津の湯。

あんたら人間には効果絶大なこと請け合いです。

不動明王 [群馬県吾妻郡草津町西の河原公園]

温泉は人の心身を癒やすため、古くより信仰の対象ともなってきました。ここ草津温泉にもお寺があり、石仏もたくさん見られます。有名な湯畑の奥にある西の河原公園で、温泉に打たれて修行するお不動さんを発見。もうもうと立ち上る湯気の間で、気持ちよさそうに目を細めていました。

● JR長野原草津口駅よりバス30分の「草津温泉」下車、徒歩15分



文・写真 吉田さらさ

寺と神社の旅研究家。日本各地に取材し、石の神様、仏様の像の写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワーク。『明日がちょっと幸せになる お地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『石仏・石の神を旅する』、『長崎の教会』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

さまざまな現場でさりげなく使われているモノたちのしくみを知る



住まいるの中の
機構としくみ

引っぱって軽くなる滑車!

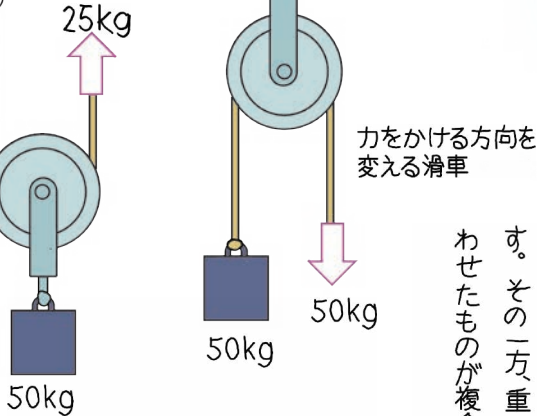
私たちはふだん暮らしの中で、知らず知らずのうちに滑車のお世話になっています。滑車が使われているところは、エレベーターのように、あまりおもてに出ていないことが多く、気付かれにくいのです。それでも工事現場で、重いものを少人数で持ち上げる場面などで目に触れることもあります。

動滑車



子どもをふたりで持ち上げると、それぞれにかかる体重が半分になることと同じです。

定滑車



力をかける方向を変える滑車



井戸から水を汲み上げる



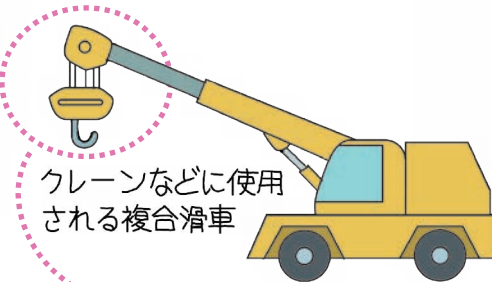
滑車について

滑車というものを人類は、いつ頃から使い始めたのでしょうか?

ギリシャ人のプルタルコスの記事によると、古代ギリシャの時代に、アルキメデスにより滑車のしくみが考案され、実際に滑車が使われていたとされています。その記述によると、大勢の人が乗っている軍艦を滑車を使って動かしたとされています。

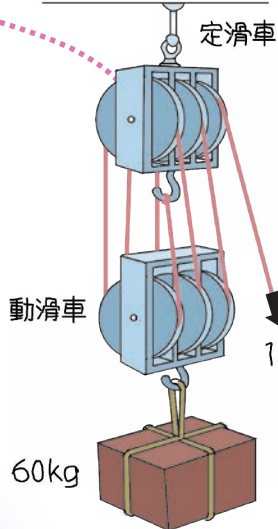
日常の中では滑車を見かけることはあまりありません。しかし、テレビや映画の時代劇などであれば、定滑車で井戸から水を汲み上げるシーンを見かけることがあります。その一方、重いものを軽くする機構(動滑車)と組み合わせたものが複合滑車です。

工事現場などで使われるクレーン内でも、このような滑車が働いています。

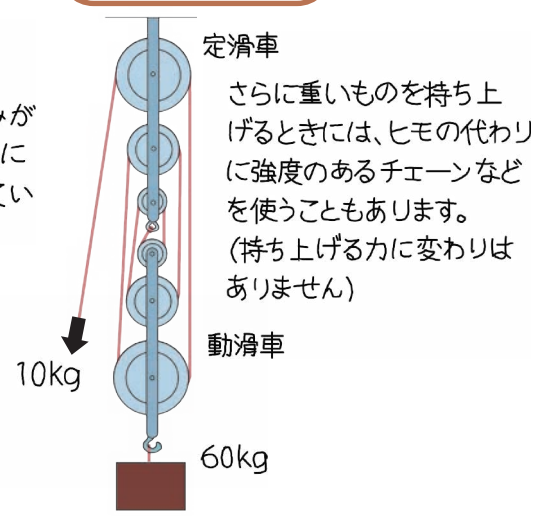


クレーンなどに使用される複合滑車

夕テ型複合滑車



この仕組みがコンパクトに収納されています。



さらに重いものを持ち上げるときには、ヒモの代わりに強度のあるチェーンなどを使うこともあります。(持ち上げる力に変わりはありません)

鉄工所や造船所のドック、港のコンテナなどの吊り上げ作業にも使用されています。

滑車を組み合わせるとこんなに軽くなるんだバブ〜!



5 気になる木のはなし



チーク



チークは、熱帯地方の樹木で、中国経由で日本に入ってきた木材です。独特な香りと光沢を持ち、茶褐色が特徴的な木材、それがチークです。世界の三大銘木のひとつとされ、国会議事堂や豪華客船クイーン・エリザベス号の内装にも使われています。

チークが銘木と呼ばれる理由は、その特質にあります。油分（チークオイル）が多く含まれており、病害虫に強く、加えて耐候性にも優れています。チークは高価な値段で取り引きされていたので「成金の木」とも呼ばれてきました。皆さんも木彫りの象を目にしたことがあるかもしれませんが、日本には装飾品や小物、家具などの加工品として輸入され、長く親しまれています。

監修 石塚典男（木香家）

ビルなどのエレベーターでは、多くの場合滑車が使われています。エレベーターを動かす方法としては、滑車式のほかに油圧式など、いくつかの方式があります。

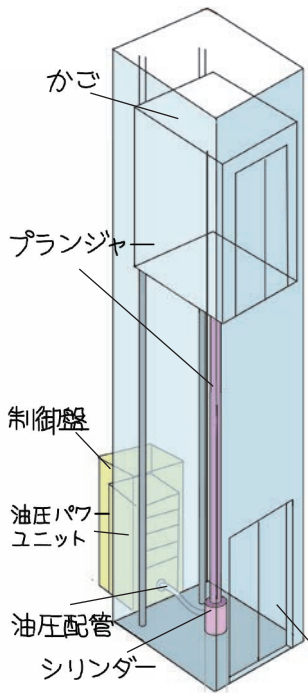
エレベーターの歴史で注目されるのが、1835年にベルサイユ宮殿内に作られた蒸気式のエレベーター。これは食事をする大広間と地下のフロアを繋ぐために作られました。またわが国では1890年、日本初の電動式エレベーターが浅草の凌雲閣に設置されました。

エレベーターと滑車

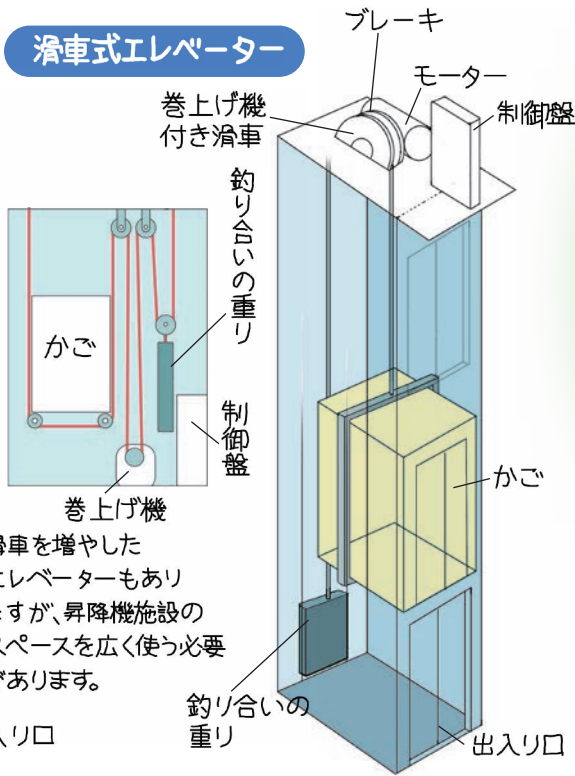


ヒモと滑車の不思議

油圧式エレベーター

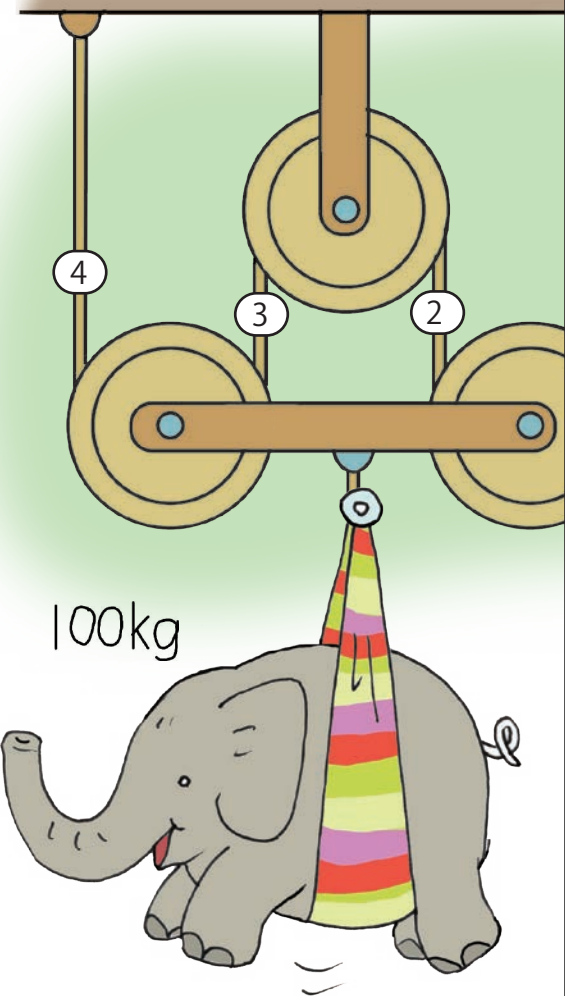


滑車式エレベーター



滑車を増やしたエレベーターもありますが、昇降機施設のスペースを広く使う必要があります。

この他にも、水圧式、リニア式などのエレベーターがあります。



$$F = \frac{\text{つり荷(子ゾウ)の質量: 100kg}}{\text{滑車で荷物を支えるロープの本数: 4本}}$$



塩浦 信太郎
信太工房主宰/カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている



あ

地域の作り手にスポットを当てて、その魅力的なプロダクトを紹介する「KANAGU つなぐ地域」、今回のテーマは石川県です。10月17日から11月28日、アトムCSタワー1階「ギャラリーショップ KANAGU」にて、石川県の挽物木地、和ろうそく、加賀水引の展示を行いました。

挽物木地 — 佐竹巧成

轆轤で漆器の木地を挽く「挽物木地」の分野において、全国トップの技術を誇る山中漆器。精巧な「薄挽き」や表面に模様を刻み付ける「加飾挽き」など、他の追随を許さない独自の技術が発達しています。山中の挽物木地師・佐竹巧成氏は、木を削るカンナを全て自ら製作。使うシーンによっていろいろな種類がある他、職人の体型やク

特別展示「KANAGU つなぐ地域《石川》」



セによって刃先の形は微妙に変わるのだとか。「いいカンナが作れなかったら、いい木地は挽けない。だから、自分がどれだけの腕を持っているか、道具が教えてくれる」と語ります。



和ろうそく — 高澤ろうそく
その歴史は安土桃山時代にまでさかのぼるといわれる、石川県の和ろうそく作り。七尾市の高澤ろうそくは明治25年に創業し、以来、能登全域の寺院や家庭で愛されています。

和ろうそくとは、植物油由来のロウと、灯芯草、和紙を使った芯から作るろうそくのこと。石油を使用していないためススが出にくく、また芯が空洞になっているため風に強い炎が灯るのが特徴です。その炎は「f分の1ゆらぎ」であることから、見つめているだけで癒やしの効果が得られるともいわれています。

加賀水引 — 津田六佑

元来の水引折型とは、正しく整った折り目と端正な姿に価値があるといわれていました。しかし、約1世紀前に津田水引折型創業者・津田左右吉が考案した加賀水引は、立体的でポリリウムがあり、華やかな姿が特徴的です。

現在は5代目の六佑氏が伝統を継承し、雑貨小物や新しい水引の可能性も模索しています。水引は、全てお客様に合わせた手作りが基本。どんな形のものでも、美しく華やかに包み、飾り、心のこもった書を添えます。なお、津田水引折型の水引は、ギャラリショップ KANAGU のプレゼント包装にも使われています。



アトムCSタワー

東京都港区新橋 4-31-5 TEL.03(3437)7750

Open 月—金 10時—18時
Close 土・日・祝日(土曜営業日はHPをチェック)

JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

寒い季節はおまかせ！ かたちにも注目、ターサイ。

青菜系ではダントツの甘み・うまみ、
歯ごたえが特長のターサイは
なにより冬が大得意。

霜が降りても凍らず、

寒さが増すほど甘くなっていきます。

そんなターサイをいただくときには、
たとえばバーニヤカウダ。

60度のお湯でさつと湯がくと

風味や食感も逃げません。

アサリなど、二枚貝との相性も最高。

白ワインを振ってパスタと絡め、

ボンゴレビアンコもいいですね。

さて、気になるこのかたち。

どうやら少しでも温かい土に

近づいたための作戦なのだとか。

冬が大好きなのかと思いきや、

本当は苦手なのかも？

タフな一方、どこかチャーミングな

ターサイです。



クリタタカシ 野菜農家「キレド」代表。サラリーマン時代に出会った「梨の
ような大根」に感銘を受け、農業の道に。現在は千葉県四街道市にて、年間
150種類以上の野菜を栽培している。「野菜の一生をみる」「レストランでしか
食べられないような野菜を、食卓にも」を基本理念として活動中。同県千葉市
には、とれたて野菜を味わうことのできる「キレドベジタブルアトリエ」も。

キレドベジタブルアトリエ
千葉県千葉市若葉区小倉台5-13-4-1F
www.kiredo.com



秋田県の北東部に位置する小坂町。十九世紀に鉱山が発見され、金・銀のほかに明治時代には銅や亜鉛の採掘で町は大いに栄え、多数の近代建築が建てられた。康楽館は明治四十三（一九一〇）年、小坂鉱山の福利厚生施設として誕生。明治から令和への時代の風雪に耐え、平成十四（二〇〇二）年には、国の重要文化財に指定された。

和と洋が彩る芝居小屋

目の前に、思いがけないほどモダンな洋館が姿を現わした。

秋田と青森の県境にほど近い山間にひろがる小坂町。建物は白く輝く外壁に、ライトブルーに塗られた窓枠。奇せ棟屋根の部屋を両脇にしたがえた左右対称のデザイン。アメリカンゴシック建築に見られる鋸歯状の軒飾り（バージボード）

が特徴的で、西洋映画に登場するような白亜の館だ。小坂町が誇る、現役最古の木造芝居小屋「康楽館」である。

だがモダンな印象は、木戸の暖簾をくぐって小屋に入れば一変する。そこは回り舞台や広々とした棧敷、舞台につづく花道や「切穴（すっぱん）」と呼ばれるセ

リ上がりを用意した本格的な芝居小屋だ。しかも江戸の雰囲気を残して、舞台上手の棧敷前には「仮花道」まで設けられている。棧敷の手摺りや柱などは建築当時のまま。時を重ねた色合いと擦り減った風合いが、不思議な懐かしさを感じさせる。

鉱山の町の福利厚生施設

小坂町は十九世紀に銀の鉱山が発見され、「鉱山の町」として歴史を刻んできた。

明治時代前期には、日本一の銀生産量を記録。その後、黒鉱の画期的な製錬法を開発し、銅山としても鉱産額日本一を果たし、空前の活況をもたらした。

好景気に沸く小坂町には水力発電によって県内初の電灯が灯り、上水道や電信・



明治の棟梁・大工たちの意気込みと誇りが感じられる白く華麗な館。来年は竣工110年を迎えるアメリカンゴシック風の木造芝居小屋だ

秋田県鹿角郡小坂町・康楽館

取材・文 倉田ひさし 撮影 大垣善昭

電話が敷設された。また鉄道が走り、総合病院が建築されるなど、当時の東北で類をみないほどの文化都市として発展を遂げた。そんな中、鉱山で働く従業員とその家族のための福利厚生施設として建てられたのが、芝居小屋の「康楽館」であった。

落成は、明治四十三（一九一〇）年八月。柿落しは大阪歌舞伎の尾上松鶴一座による「寿式三番叟」の舞い、「假名手本忠臣蔵」など。「家族慰安会」と呼ばれた観劇会は大人気で、鉱山関係者だけでなく近郊の人々も弁当持参で大勢見物に訪れたという。

黒子の人カエレベーター

芝居用の設備には、さまざまな工夫が凝らされている。

一階棧敷は舞台に向かって傾斜がつけられ、後ろの席でも見やすい設計。二階棧敷は吹き抜けで、舞台をコの字状に囲んで客席が設えられている。見渡せば江戸時代を彷彿させる伝統的な芝居小屋の



現役最古を誇る 木造芝居小屋

月替わりで開催される常打芝居。
この日の公演は劇団「三峰組」に
よる人情芝居と舞踊ショー。満員
の観客の拍手と歓声の中、花道
を役者が駆け抜ける



「すっぽん」と呼ばれる装置。役者の顔が入り出す様子が亀に似ているからといわれる



趣だが、天井だけは洋風の板張り。八角形の枠組みの中に灯るチューリップ型の電灯設備は、竣工当時のままだ。当時の東北地方はまだ電気が引かれていなかったから、電灯照明は画期的なことであった。さらに舞台や花道の地下、芝居用語で「奈落」と呼ばれる場所には舞台演出用の仕掛けが隠されている。花道の七三（揚幕から七分、舞台から三分）の位置にある「切穴」は、花道に役者がセリ上がりたり隠れたりする装置。上げるときは合図とともにロープを黒子が両側から引張る。まさに人力エレベーターだ。

ステージがぐるりと回転する回り舞台も、奈落の「ろくろ仕掛け」を黒子が二人がかりで回す。すべて人力で、黒子同士の呼吸がぴたりと合わなければならぬ。そんな舞台演出も観客を熱狂させた。かくして康楽館は、町の文化の発信地として大いに賑わったのである。

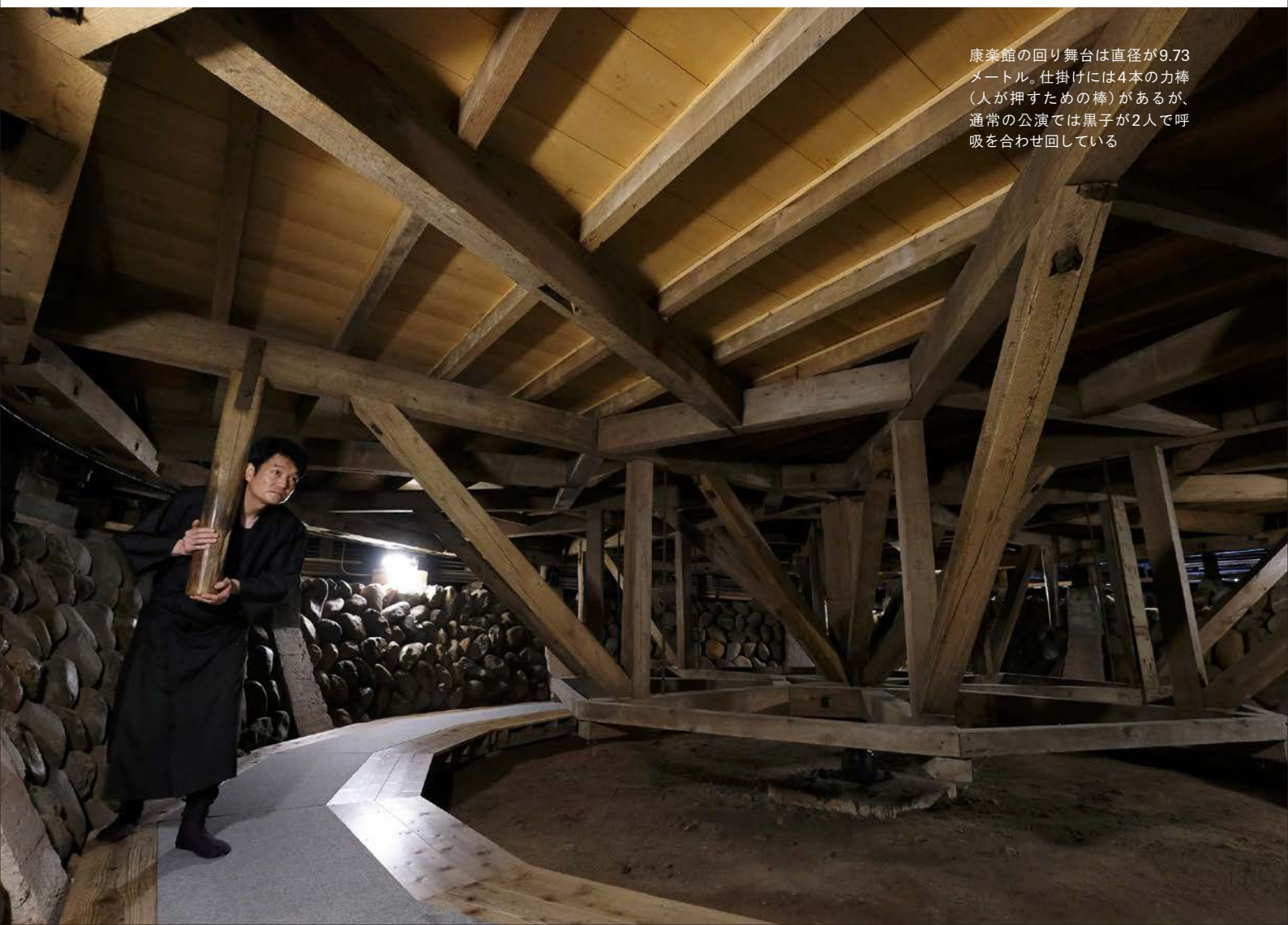
取り壊し寸前の逆転劇

転機が訪れたのは、昭和四十五（一九七〇）年だった。

新たなメディアとして登場したテレビの普及によって、芝居の人気は下降線に。この年、施設の老朽化を理由に康楽館での一般興行が中止された。入館者の減少は隠しきれず、赤字の累積に耐えきれなくなったのだ。以後は町の集会や単発の公演が細々と行なわれたのみ。ついには取り壊しという事態に迫られた。

それにストップをかけたのが、俳優で芸能史研究者として知られる小沢昭一氏だった。視察に訪れた氏は康楽館の現状を憂い、貴重な文化財として保存と活用を強く訴えた。これを機にマスコミでも康楽館の存在が注目され、町の人々の保存にかける熱意とともに、修復・復興への動きが具体化していった。

修復工事の完了は昭和六十一（一九八



康楽館の回り舞台は直径が9.73メートル。仕掛けには4本の力棒（人が押すための棒）があるが、通常の公演では黒子が2人で呼吸を合わせ回している



舞台正面にある2階客席は「向こう棧敷」。一番上は「大向こう」と呼ばれる



舞台から見渡した客席。定員は約600名で江戸の芝居小屋の雰囲気の色濃く感じさせる

であり、もうひとつの「心のふるさと」なのである。

康楽館は小坂町の文化と芸術の殿堂であり、もうひとつの「心のふるさと」なのである。

「切穴」から姿を現わす演出は康楽館ならではのもの。セレモニーがすめば、お待ちかねの芝居見物。町を愛する人々の暮らしの中に、芝居小屋の存在がしっかりと根づいている。

全国的にも珍しいのが、芝居小屋で開催される成人式だ。回り舞台での登場や、催されるもの。セレモニーがすめば、お待ちかねの芝居見物。町を愛する人々の暮らしの中に、芝居小屋の存在がしっかりと根づいている。

全国にも珍しいのが、芝居小屋で開催される成人式だ。回り舞台での登場や、催されるもの。セレモニーがすめば、お待ちかねの芝居見物。町を愛する人々の暮らしの中に、芝居小屋の存在がしっかりと根づいている。

人情芝居と舞踊ショー

六）年七月。待ち望んでいた芝居の常設公演がスタート。翌年には「康楽館修復記念・創建七十七年記念」として、第十二代市川團十郎一行が公演。明治からの芝居小屋で当代の人気役者が演じる本格歌舞伎に、万雷の拍手が巻き起こった。

康楽館に新たな活気がよみがえった。

現在、大衆演劇劇団による年間約四百

公演の常打芝居がある。笑いあり涙あり

の人情芝居と華やかな舞踊ショーに、県

内外をはじめ海外からの観客が魅了され

る。寄席やコンサート、のど自慢大会な

ども開かれ、地元の幼稚園、小、中、高

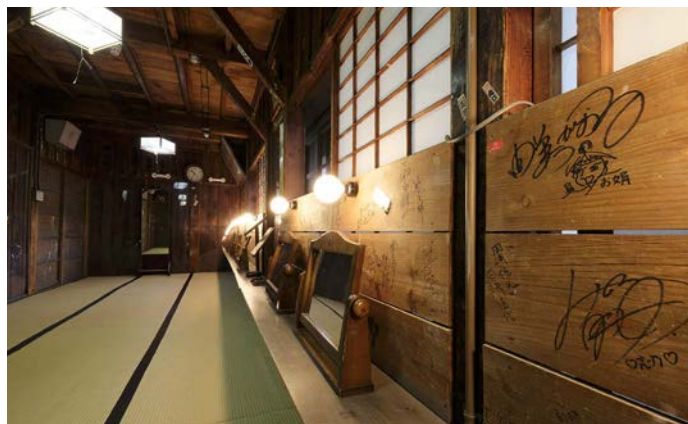
校生たちにとって親しみのある場所とな

っている。

INFORMATION

康楽館

- 所在地：秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山字松ノ下2番地
- TEL. 0186-29-3732
- 開館時間：9:00～17:00
- 料金：常打芝居公演と施設見学(ガイド付き)
大人(高校生以上)個人 2,100円 団体(15名以上) 1,890円
小人(小・中学生)個人 1,050円 団体(15名以上) 950円
修学旅行 840円 特別席 500円増し(座椅子・ドリンク付き)
- 交通：東北自動車道「小坂IC」から約3分
JR盛岡駅から高速バス「あすなる号」約90分「小坂高校前」下車、
タクシーで約3分 *詳しくは、下記ホームページをご覧ください
- ホームページ：<http://kosaka-mco.com/publics/index/51/>



楽屋の壁や天井には康楽館の舞台に立った役者たちの落書きが残されている

アトムの視点



建物の外壁に注目してみると、横板が下から数センチずつ重なり合うように張られています。これは「下見板張り」という外壁工法のひとつ。康楽館の正面は「イギリス下見(鎧下見、南京下見)」という洋風建築によく見られる手法で、アメリカ西部開拓時代の典型的な様式。

ところが建物の側面と裏面は、この下見板に「かさね籠子」と呼ばれる縦の抑え材を加えた「籠子下見」という和風建築に多い手法が用いられています。同じ下見板張りで統一感を出しながらも、巧みに「和洋折衷」が表現されているのです。

NEW

FC-101-40/FC-101-40S HRシステム水平レールタイプ(ソフトクローズ併用)

11月に発売が開始された新商品です。「クローザーユニット」により、自動で閉まる引戸で、上部レールは傾斜式ではなく水平仕様なので、通常の上吊式引戸用の枠にインセット施工が可能。「フリーストップ機能なし/FC-101-40」と、「フリーストップ機能あり/FC-101-40S」の2種類から選ぶことができます。「フリーストップ機能なし」では、戸を開けて手を離すと自動で戸が閉まり、閉まる直前にソフトクローズ機能が作動します。また「フリーストップ機能あ

り」では、戸を開けて手を離れた位置で戸が止まり、その後、軽く戸を閉める方向に動かすと自動で戸が閉まり、閉まる直前にソフトクローズが機能。戸を外さずに「フリーストップ機能」のオンオフの切り替えも可能です。下記や取扱説明書にある「QRコード」を読みこめば、施工動画を見ながら取り付けることができます。



FC-101-40

FC-101-40S



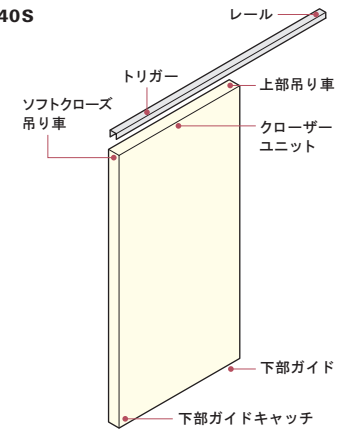
● フリーストップ機能あり [FC-101-40S]

- 1 クローザーユニット

 戸を開ける操作は、手動となります。
- 2

 戸を開けて、手を離れた位置で戸が止まります。
- 3

 戸を閉める方向に動かすと自動で戸が閉まり、閉まる直前にソフトクローズ機能が作動します。

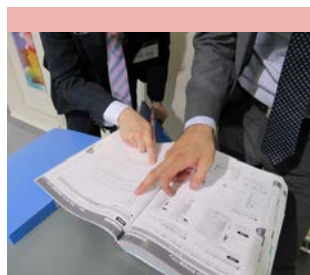
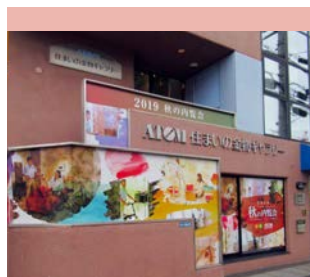


2019 秋の内覧会レポート

去る10月、大阪と東京でアトムリビンテック「2019 秋の内覧会」が開催されました。品揃え豊富なソフトクローズ引戸や連動引戸、自動閉鎖式引戸・折戸金具に加え、空間を有効に活用できる移動間仕切り金具などの施工例をご覧いただきました。東京会場では、高齢者向け施設の居室などの「非住宅エリア」と、住宅の間取りをイメージした「LIVIN' ZONE」で、実際の住空間に近い状態で提案商品を展示。さらに金物の展示エリアを拡張し、幅広い商品をご覧いただきました。

大阪会場

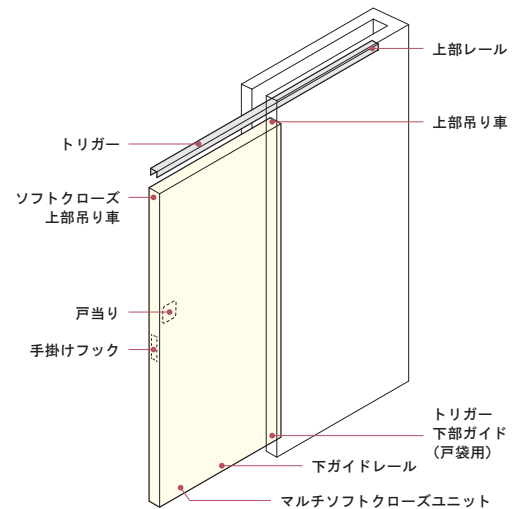
アトム住まいの
金物ギャラリー大阪



NEW

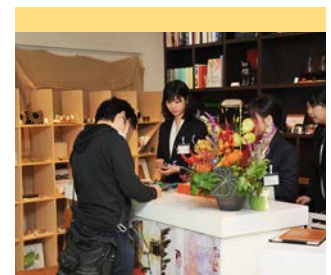
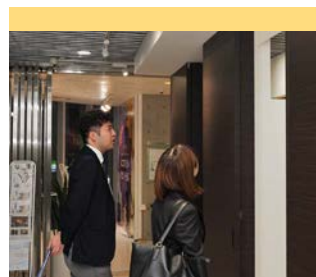
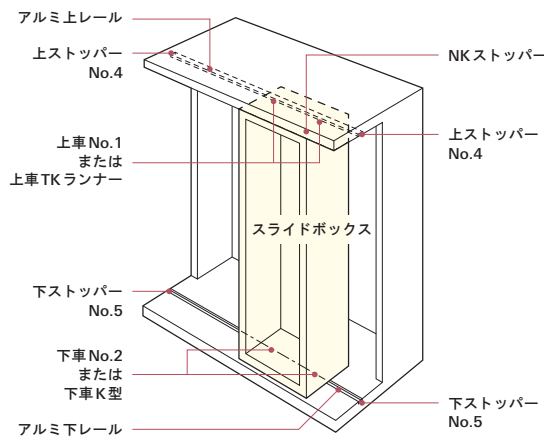
AFD SYSTEM 戸袋対応マルチ併用型ダブルソフトクローズ

戸先上部に「ソフトクローズ上部吊り車」、戸先下部に「マルチソフトクローズユニット」を使用。これにより開けるときは枠より約120cm手前で、閉じるときは枠より約50cm手前でソフトクローズが作動します。メンテナンス部分がすべて開口側・戸先についているので、メンテナンス性に優れています。戸先下部の「マルチソフトクローズユニット」は、戸を吊ったままでユニットの脱着が可能。しかもストロークに余裕があるので、セーフティストッパーで「引き残しなし⇔引き残し50mm」を切り替えてもソフトクローズ機能が作動します。



スライドボックス金具

奥行きが2列で構成されている書棚で、前列にある書棚のユニットが左右に自在に移動する「スライド書棚」用の金具です。スライドの走行は滑らかで、取り付けも簡単。ストッパー付きなので、使い勝手によって好きな場所で固定することも可能。レールや走行車、ガイドローラー、ストッパー、それぞれ多種類を取り揃えていますので、用途に合わせて選ぶことができます。書斎の空間がより有効に活用できるので、蔵書家にとっては必須アイテム。アトムロングセラー商品のひとつです。



ご来場くださいましたお客様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



1840年の誕生以来、世界中で発行されている切手。

その単片には各国の文化や自然、知と美の世界があふれています。

切手という小さな窓を開いて、一緒に世界を旅してみませんか？



2011年オーストリア発行

ウィーンの芸術家が集うカフェでひと休み

17世紀、トルコからコーヒーが伝わったとされるウィーンには、伝統を誇るクラシックなカフェが何軒もあります。この切手に描かれている「カフェ・ハヴェルカ」は1939年にオープン。芸術家や知識人たちが集う、居心地のよい店として、現在も昔と変わらないスタイルで営業しています。切手には同店の名物コーヒーのメランジエも描かれているから、ちょっとお茶でもしていきましょうか。切手を眺めて、ウィーンに旅したような気分になれますね。



文 馬場 千枝 | フリーランスライター。切手愛好家。

Facebook上で「なでしこ切手倶楽部」を主宰。「かわいい、楽しい、美しい切手やおたよりで癒やされたい、あそびたい人たちの集う場」を提供している。著書「切手女子のかわいい収集BOOK」(PHP研究所) 他 https://www.instagram.com/nadeshiko_kitte/

INFORMATION

広島営業所が移転しました



かねてより建設中であった「アトムリビテック広島営業所・C/Dセンター」がお陰様をもちまして竣工落成し、令和元年10月21日より営業を開始しました。

今後とも、お客様のサポートには万全を期し、サービスの維持向上に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

アトムリビテック広島営業所・C/Dセンター

〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6

TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880

*電話番号・FAX番号に変更はございません

読者の声

旧石川組製糸西洋館のことは埼玉に住んでいますが、知らず、興味深く読ませていただきました。 (埼玉県 Y・H様 女性)

古今東西たてものがたりは、毎回楽しく読んでいます。地方にも大正時代、大工さんが工夫しながら洋館を造ったのだなあと感じます。 (神奈川県 A・A様 女性)

たてものがたりが好きです。遠くへ行かない所も、写真を見て楽しんでいます。 (東京都 A・F様 女性)

初めて拝見いたしました。写真がとても綺麗で、記事も楽しかったです。挽物木地師の佐竹さんがとても素敵でした! (石川県 ごとぶき様)

オリンピックに向けて、日本の伝統技術、工芸に引き続きスポットライトをあてて欲しいです。 (埼玉県 けんちゃん)

気になる木のはなしの中で出てきた北海道の檜がベルサイユ宮殿でも使われたことを初めて知りました。とても興味深かったです。 (東京都 もぎなす様)

「てこの原理」を読んで、人間の体もそして日常生活で利用しているいろんな物も「てこの原理」で動いていると知り、びっくりしました。 (神奈川県 F・S様)

編集後記

大型の台風が相次いで日本列島を襲いました。被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ここ数年の日本は自然災害が多く発生し、被害も想像以上に大きく、「備えあれば憂いなし」とは言い切れないと感じています。我が家も今回の台風で、防災用品の確認や地域の避難場所、家族との連絡方法など、改めて確認しました。「備え」も日々のアップデートが必要です。 (Owl)



アーバンスタイル事業部 藤島 朋美

ショールームでの店頭販売ならびに
オンラインショップの営業事務を担当

入社して二十数年、趣味の話題の際にこれといった話のできるようなものを持っていなかったのですが、唯一?と云ってよいくらいに続いているのが「一人」カラオケです。

現在は一人カラオケ専門店もあり、私もよく利用します。店内は小さいオートロックの個室が並んでいて、室内は壁にモニター、机の上に機材が載っています。スピーカーはなく、代わりにヘッドホンをつけることで曲が聞こえるので、自分の声をヘッドホンで聞きながら歌います。最初は聞こえてくる自分の声に慣れずにドキドキしましたが、自然と気にならなくなりました。

みんなで盛り上がるカラオケももちろん楽しいのですが、ひとり歌うのもまた別の面白さがあります。

私の思う一人カラオケの面白さは瞬間の思いつきで、うまく歌うこととかを少しも考えずにただ好きな歌を歌うことです。最初は覚えただけの曲から自主練の如く歌い始め、そこからいつもの十八番を歌います。しばらくすると声は枯れ、最終的には歌いたい曲が思いつかなくなり、カラオケの機械に残っている他の人の歌った履歴から引つ張り出した曲を歌うこともあります。履歴を見ながら、先にこの部屋を使用した人がどんな人だったのだろうかと思像してみる、なんてことも楽しかったりします。

ひとりの時はお酒や食事を取りながら歌うことも無く、ひたすら歌い続けていますが、これが良い気分転換になっています。これからも時間を見つけては通い続けていこうと思います。



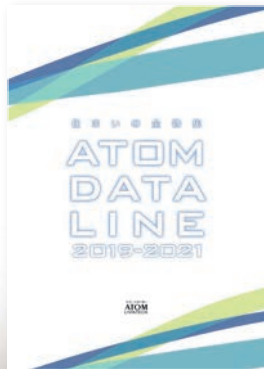
ヘッドホンはレンタルで別料金なので自分で持っています

個人情報の取り扱いについて

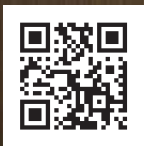
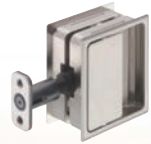
読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、プレゼント発送のほか、商品情報や弊社個展の招待状等の発送に利用させていただく場合がございます。これらの発送停止をご希望される場合には、速やかに対応いたします。詳しくは弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。



New!



人に寄り添い 住まいを飾る



www.atomlt.com/catalog/

住まいの飾り職人

ATOM LIVINTECH アトムリビントック株式会社

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所・C/Dセンター / 〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



www.atomlt.com